

地域の元気、広島大学が応援します！

広島大学地域の元気プロジェクト

Hiroshima University



令和3年5月20日
広島大学 学術・社会連携室

地域の元気応援プロジェクトの制度概要

Hiroshima University

令和元年度からスタートした「広島大学地域の元気応援プロジェクト」は、学生・教員・地域団体の3者でチームを組んで、地域から提案があった地域課題の解決や地域活性をめざす取組を、広島大学が支援するものです。

■応募対象者

広島大学の学生＋広島大学の教員＋地域団体等
(地域と学生・教員により、連携して提案することが必要)

■募集等の日程

- ・募集 4月
- ・マッチングイベント(地域と学生・教員の出会い) 6月
- ・審査会 7月(学生・教員・地域によるプレゼン)
- ・事業実施 8月～2月(7か月)
- ・報告会 3月

地域社会が抱える
課題への取組

地域社会と
大学の双方
の活性化

- ◇地域の人たちだけでは、解決が難しい課題
- ↓
- ◇広島大学の学生・教員が地域と一緒に具体的な事業を提案
- ↓
- ◇学生・教員・地域で活動し、地域を元気にする

SDGsの目標 11

・住み続けられるまちづくりを

■事業予算・採用件数

全体予算 400万円

採用件数 10件

(1件30万円～50万円)程度

地域の元気応援プロジェクト(令和元・2年度実績)

※呉市関係

Hiroshima University

◆久比(くび)地区の水利用等住環境に関するサステナビリティの確立のための広島大学の瀬戸内拠点造り

一般社団法人まめな × 総合科学研究科 小野寺 真一

大崎下島久比地区の水資源、井戸水の研究を皮切りに広島大学の学生が久比に集いやすい環境を整備し、これからの未来の地域の形、住環境の持続可能なあり方のモデルケースを発信する。



◆学生ワークショップによる公共空間利活用の提案と実践

NPO法人SYL × 工学研究科 田中 貴宏

呉市の老舗と新しい店舗がバランスよく共生する中通り2丁目エリアで、公共空間の利活用による、持続可能な賑わい創出の形を探っていく。



◆音戸の瀬戸周辺地域の散策マップ作成とマップを活用にした地域づくり提案

特定非営利活動法人地域力で里山を再生する会 ×
工学研究科 田中 貴宏

音戸の瀬戸周辺地域は、歴史的な資源を有するが、近年では、新たな地域資源も整備されている。本プロジェクトでは、新たな地域資源発掘を行いつつ、デジタル散策マップを作成する。



◆音戸ドリームアイランドカレッジフィールド

NPO法人アースキューブジャパン ×
総合科学部国際共創学科 張 慶在

音戸ドリームアイランドカレッジフィールドは、海外や全国からクリエイターが訪れ、夢を具現化する地域人材を育成と、地域の住民の方と交流する事で、現場で気づきを得て、島の魅力を発見し世界に発信したりする人材を育成する。



広島大学呉サテライトの設置

Hiroshima University

【広島大学呉サテライトの概要について】

< 目的 >

呉市と広島大学は、これまでも、様々な取組で連携してきたが、起業支援や社会人講座などの新たな取組を展開するとともに、更なる連携の深化を図るため、広島大学呉サテライトを設置した。

< 設置概要 >

名称：広島大学呉サテライト
場所：呉市役所本庁舎4階
(平成31年1月30日設置)

< 事業内容 >

呉市と広島大学の共同事業として、様々な事業を展開する。

- ・ 市民や民間企業からの総合相談
- ・ 起業支援
- ・ 地域の元気応援プロジェクト支援
- ・ スマートシティ事業支援
- ・ 大学の活動の情報発信 ほか

